

令和3年度岡山市基本政策審議会 資料

令和4年2月7日
岡山市

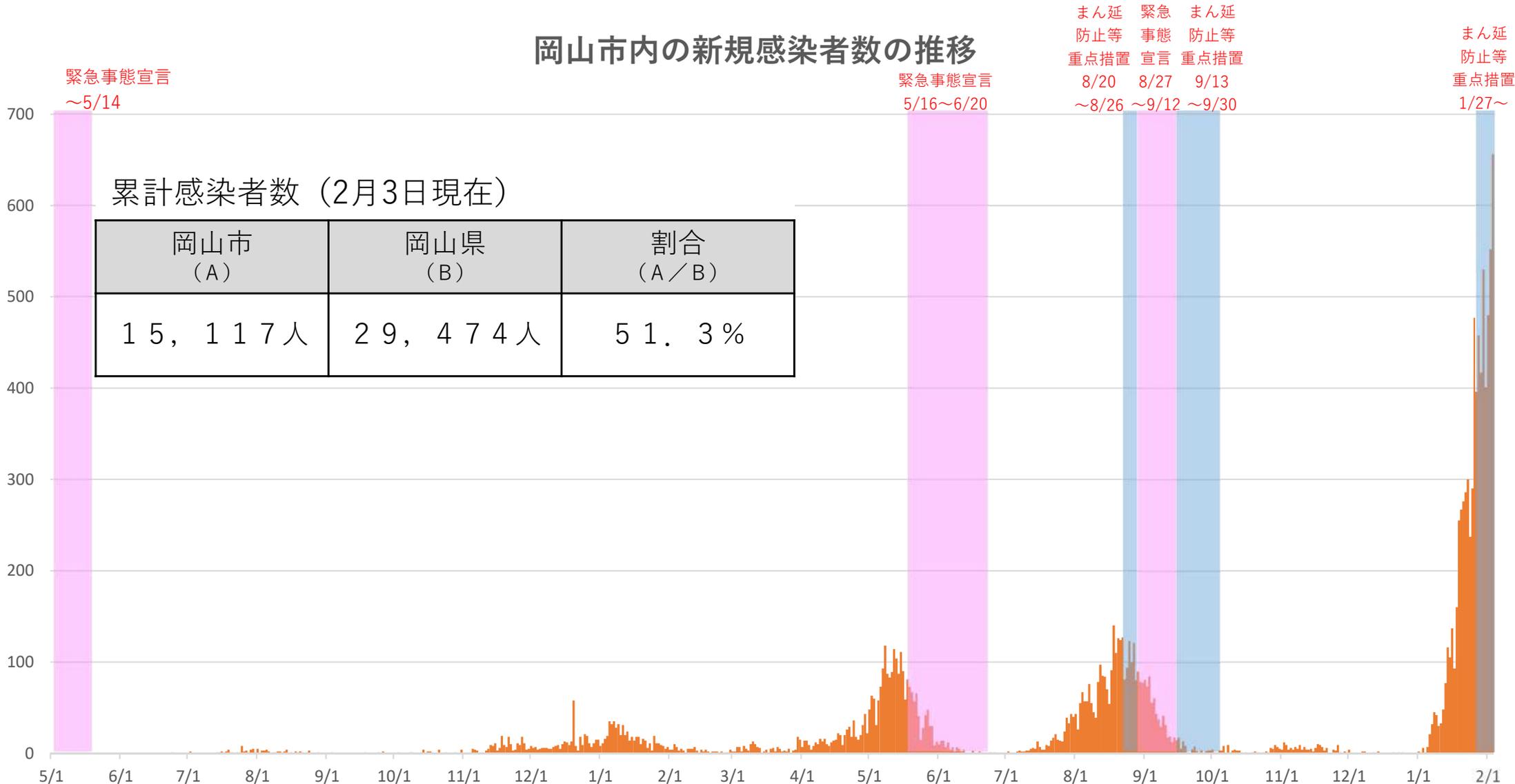
1. 岡山市の主要施策について

- 新型コロナウイルス感染症対策
- 将来都市像Ⅰ 経済・交流都市
- 将来都市像Ⅱ 子育て・教育都市
- 将来都市像Ⅲ 健康福祉・環境都市

新型コロナの新規感染者数の推移等

- 強い感染力を有する変異株の影響により、**岡山市内の新型コロナ感染者数も急増傾向**
- 全庁的な人繰りによって**保健所体制を強化**するとともに、**3回目のワクチン接種**も進めているが、マスク着用、手洗い、「密」の回避など、**基本的な感染対策の徹底**も不可欠

岡山市内の新規感染者数の推移



新型コロナウイルス感染症対策

○ 岡山市は「**感染拡大防止**」「**事業者支援**」「**市民生活支援**」の3つの柱に沿って、新型コロナウイルス感染症対策を総合的に推進

1. 感染拡大防止

- PCR検査の拡充
- 保健所体制の強化
- 円滑なワクチン接種の推進 等



予算額 (※)

172.1億円

2. 事業者支援

- 中小企業・小規模事業者等への支援金
- スマホ決済ポイント還元による消費喚起 等

130.5億円

3. 市民生活支援

- 生活困窮者（住民税非課税世帯等）への給付金
- 文化・芸術・スポーツ活動や市民活動への支援 等

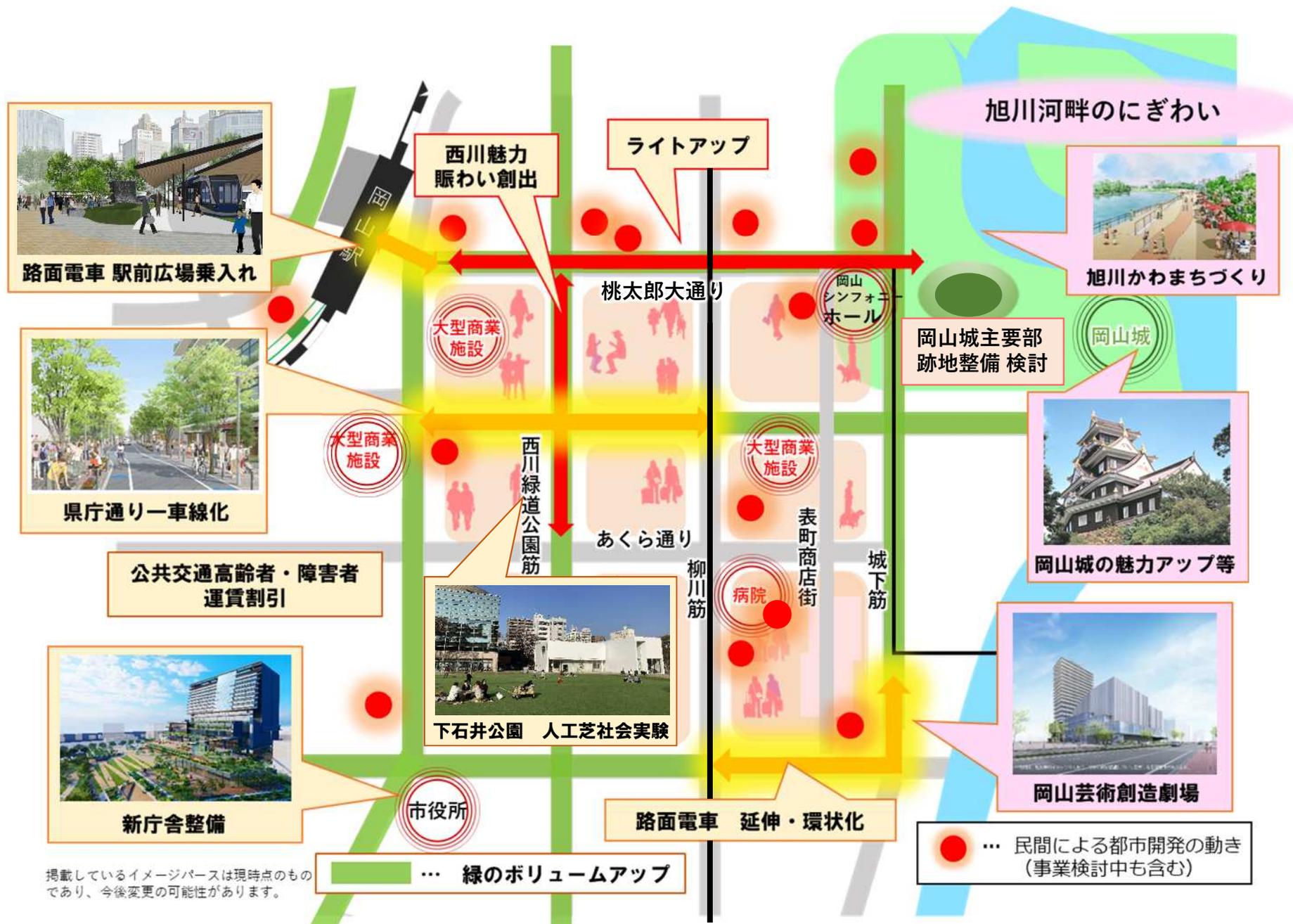
1,011.3億円

➔ 岡山市のこれまでの新型コロナ対策予算は**1313.9億円**
うち**市負担額は196.0億円**（臨時交付金を除いても**92.4億円**）を計上

※令和元年2月補正予算～令和3年11月補正予算

将来都市像Ⅰ 経済・交流都市 ～都心まちづくり①～

○ 回遊性が高く、居心地のよい、歩いて楽しめるまちづくりを推進



掲載しているイメージパースは現時点のものであり、今後変更の可能性があります。

岡山芸術創造劇場 ハレノワ 整備

文化芸術・賑わいの拠点として、
中四国初の創造型劇場を整備

R5.9.1 グランドオープン



文化芸術活動の振興と旧城下町エリアの回遊性・賑わいの向上

岡山城の魅力アップ

歴史資産の有効活用により魅力向上
を図るため、
天守閣等大規模工事「令和の大改修」
等を実施

(**R4.11** リニューアルオープン)



工事のための足場囲いを活用して
リニューアルPR画像を投影

市民の誇りの醸成と観光誘客の促進による、旧城下町エリアの賑わいの向上

県庁通り一車線化

安全で快適な歩行空間の創出・
賑わい向上のため、
車道の1車線化による歩道拡幅・
自転車走行空間の設置

R4.4 全区間供用開始
(R3.4～一部供用開始))



沿道を利用した飲食店の利用も

JR岡山駅周辺エリアと旧城下町エリアを結ぶ動線の魅力向上による、回遊性の向上と街なかの賑わい創出

公共交通高齢者・障害者運賃割引

自動車を運転できない高齢者や障害者の公共交通利用促進のため、路線バス・路面電車の運賃半額割引

R3.10.1 割引開始

「ハレカハーフ」**交付枚数**：21,801枚 (R4.1.17時点)
(割引専用のICカード)

※「路線バス・路面電車の運賃無料DAY」を2日間実施

まちと地域拠点を結ぶ公共交通の利便性向上

○ **地域の課題解決や地域資源を活用した魅力ある地域づくり**に向けて、**地域振興基金**も一部で活用しながら**ハード・ソフト両面からの各種取組を総合的に推進**

1. 経済・産業の振興

農業振興や道路整備、コミュニティビジネスの支援などによって、地域の経済・産業の振興につながります。

○ 儲かる農業の実現

担い手の確保・育成、農地の集積・集約化、生産基盤の整備、農産物の販路拡大、有害鳥獣対策などを総合的に推進



○ 道路ネットワークの充実・強化

道路整備によって、公共投資のフロー効果だけでなく、エリア価値向上につながるストック効果も発現



外環状線の整備

○ 地域の未来づくり推進事業

古民家の活用や農産物の加工販売、獣皮の活用など、コミュニティビジネスの創出を支援



古民家の活用（御津）

など

2. 地域の歴史・文化の継承

地域の歴史・文化の掘り起こしや磨き上げによって、地域の誇りの醸成や地域の活性化につながります。

○ 造山古墳群の魅力アップ

造山古墳の立体的復元整備や陪塚である千足古墳の保存整備、吉備路周遊バスの運行等を実施



千足古墳

○ 万富東大寺瓦窯跡の保存整備

鎌倉時代の東大寺大仏殿再建に際して築かれた瓦窯跡の保存整備や瀬戸町郷土館展示室の改修を実施



瓦窯跡の出土品

○ 高松城址公園資料館リニューアル

令和4年のDESTINATIONキャンペーン（DC）に向けて、高松城址公園の資料館をリニューアルするほか、水攻め等のVRコンテンツを作成

など

3. 生活機能サービスの維持・向上

生活交通の維持・確保やデジタルデバイドの解消などによって、地域住民の生活を守ります。

○ 生活交通の維持・確保

市内8地区（御津・建部・足守・牧山・馬屋上・野谷・城東台・草ヶ部・千種・角山・迫川）でコミュニティバス等を運行



デマンド交通

○ 犬島超高速ブロードバンド整備

犬島への光ファイバーの整備を令和4年度の供用開始に向けて行っており、瀬戸内国際芸術祭や島民の健康相談等で積極的に活用していく予定

○ 地域の安全・安心に向けた取組

- ・生活道路の整備・修繕
- ・通学路等の交差点安全対策
- ・防犯灯・防犯カメラの設置 ほか

など

地域の未来づくり推進事業等については、地域振興基金を各年度最大3.5億円活用する中で実施

将来都市像 I 経済・交流都市 ～地域の振興②～



生活交通確保の取組地域

生活交通の確保



美作岡山道路の整備



史跡万富東大寺瓦窯跡保存整備

国道2号

上道地域センター
上道公民館整備 (R3)

生活道路の整備・修繕

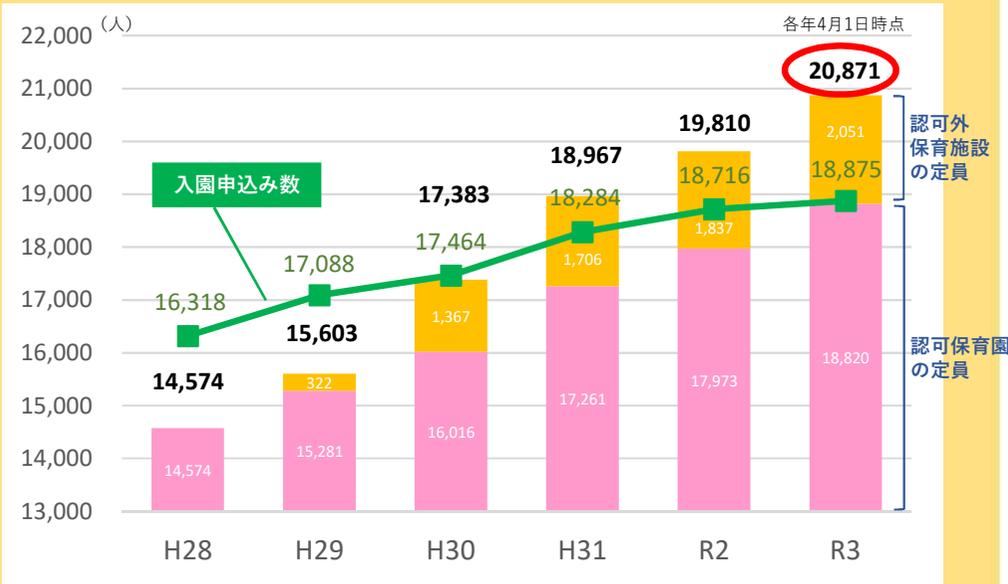


福田地域センター整備



○ 保育所の整備促進や処遇改善による保育士確保等により、待機児童はほぼ解消

◆保育の受け皿の整備 (市内保育施設定員等の推移)



◆保育士の確保

3%賃金上乘せ等の保育士確保策により、認可保育園の保育士数は令和3年までの5年間で約900人増加

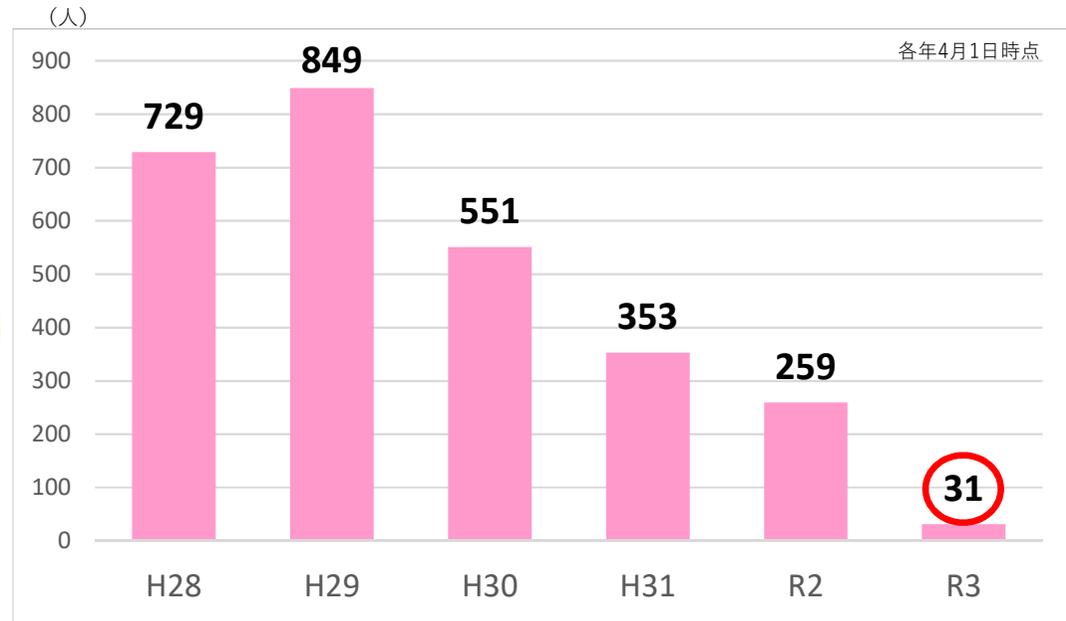
平成28年 **2,529人** ▶ 令和3年 **3,428人**

※認可保育園（市立・私立）の保育士数（各年4月1日時点）

◆保育コンシェルジュの寄り添う支援

保育園などの情報提供や入園相談を受ける保育サービス専門の支援員を10名配置

◆岡山市の待機児童数の推移 ※定義を見直したH28以降



<参考> 待機児童対策に伴う波及効果

受入れ児童数と働く保護者（母親）の増加

	平成28年	令和3年	増加数
児童受入れ数	14,975人	18,039人	+3,064人
保護者（母親）	11,693人	14,017人	+2,324人

- ・ 女性労働力の社会進出 ～安心して仕事ができる～
- ・ 少子化対策 ～安心して子どもを産み育てることができる～

- 岡山市の第1期教育大綱に基づく取組により、学力は全国平均レベルまで上昇
- 今年度からの第2期教育大綱は「個性」「選択」「挑戦」をキーワードとして策定

第1期 教育大綱 [平成29年度～令和2年度]

子どもたちの **学力の向上** 【数値目標】 小学校 5.1 中学校 5.0 (全国学力・学習状況調査の偏差値)

◆ 全国学力・学習状況調査の結果 (偏差値)

平成28年度

	小学校	中学校
国語	5.0	4.8
算数・数学	5.0	4.8

令和元年度

	小学校	中学校
国語	5.1	5.0
算数・数学	5.0	5.0

第2期 教育大綱 [令和3年度～令和7年度]

【目指す子どもの姿】 自らの **個性** を磨き、**選択** と **挑戦** を繰り返すことができる子ども



◆ 新たな数値目標 (一部)

5つの力を育むために

全国学力・学習状況調査の
記述式問題の正答率の対全国比
(岡山市/全国)

1以上にする

小学校 1 [R1]	➡	1.01[R3]
中学校 0.96[R1]	➡	0.98[R3]

人が困っているときに進んで
助けると考える子どもの割合
(岡山市教育に関する総合調査)

5ポイント以上上昇させる

小学校 86.6% [R1]	➡	85.7%[R3]
中学校 84.6% [R1]	➡	86.5%[R3]

1人1台端末 (パソコン)
を活用した授業



○ 平成30年7月豪雨をはじめ激甚化・頻発化する自然災害から市民の生命・財産を守るため、ハード・ソフト両面からの防災・減災害対策を推進

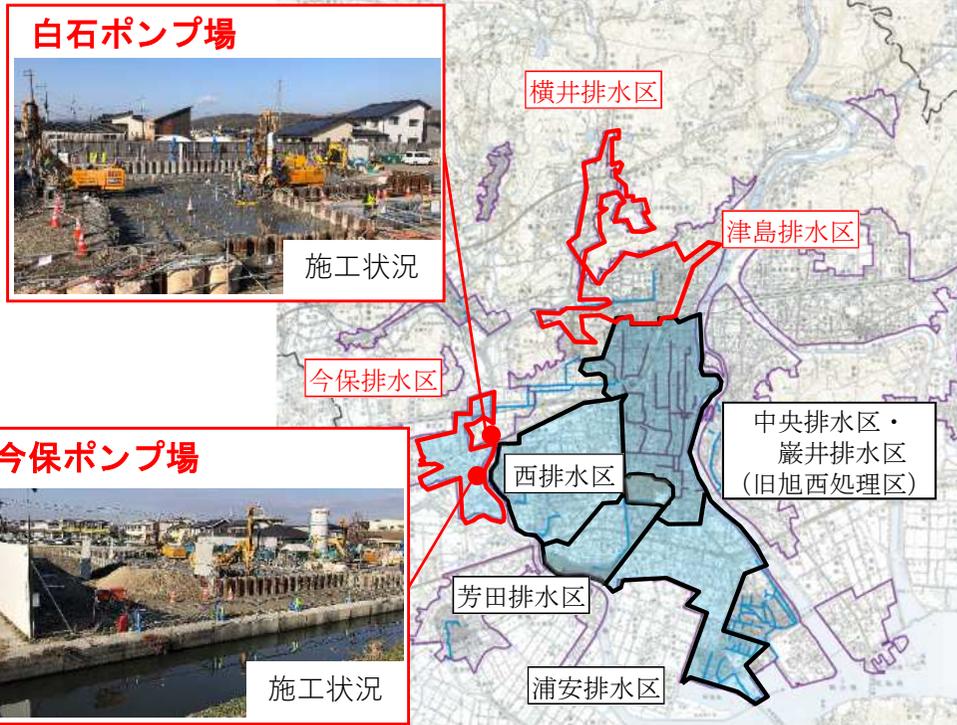
ハード対策

■浸水対策

H30年7月豪雨の被害を踏まえ、下水道整備の重点地区に3排水区を追加

ポンプ場整備や浸水対策の検討

今保、白石ポンプ場を施工中



ソフト対策

■自主防災組織

自主防災組織活動カバー率（※）

H30.4	H31.4	R2.4	R3.4
64.5%	69.3%	92.2%	94.1%

※組織がその活動範囲としている地域の世帯数 / 管内世帯数

《主な取組》

- ・ 自主防災組織の結成促進
- ・ 個別避難計画作成及び避難訓練の促進
- ・ 避難所における感染症対策周知
- ・ ハザードマップの更新 など

■道路（橋梁）

- ・ 岡山市の管理橋梁：9,599橋（令和3年3月末時点）
- ・ 点検の結果早期に措置が必要な橋梁706橋について、長寿命化対策を実施
- ・ 緊急輸送道路上の橋梁や跨線・跨道橋について、耐震補強を実施

○処理場・ポンプ場の耐震対策等 対策必要施設 11施設（令和3年12月末時点）

○管渠の老朽化対策

耐用年数経過管渠（50年超）

令和2年度末 110km
10年後 300km
20年後 560km

○ポンプ場の耐津波等対策



岡南ポンプ場(現状)



岡南ポンプ場(更新イメージ)

2. 今後の課題について

- グリーン
- デジタル
- 大都市制度

脱炭素社会の実現に向けて ～地球温暖化対策①～

- 環境と成長の好循環に向けて、ゼロカーボンシティ宣言や研究会等の取組を圏域で推進
- 指定都市市長会での脱炭素に向けた議論を岡山市がリードし、国への提言等を実施

岡山連携中枢都市圏での取組

○ ゼロカーボンシティ宣言

2050年に二酸化炭素の排出を実質ゼロにすることを目指す「ゼロカーボンシティ宣言」を圏域内の市町が共同で実施（R3.2）



<首長による共同宣言>

○ ゼロカーボン研究会

圏域内市町や倉敷市、商工会議所、大学等で構成する「ゼロカーボン研究会」を新たに設置し、圏域内の環境と成長の好循環に向けた具体的な取組を検討（R3.6～）



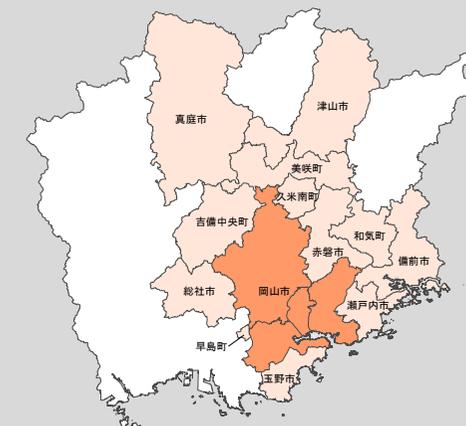
<研究会構成イメージ>

○ 廃棄物処理の熱回収

圏域内の一般廃棄物処理施設（3箇所）を統廃合して広域処理施設を整備（R9稼働予定）するとともに、焼却熱で発電した電力を新庁舎等で活用



<新庁舎イメージ>



岡山連携中枢都市圏 圏域図

H28.10に岡山市が近隣7市5町と連携協約を締結し、県人口の過半（110万人超）を占める岡山連携中枢都市圏を形成

指定都市市長会での取組

○ 温暖化対策に向けた連携宣言

指定都市市長会まちづくり・産業・環境部会の部会長市として、岡山市が「温室効果ガス排出削減等に向けた連携宣言」を取りまとめて公表（R2.11）

→ その後、ゼロカーボンシティ宣言を実施した指定都市が10市（R2.11時点）から19市にまで増加

○ 脱炭素社会の実現に向けた提言

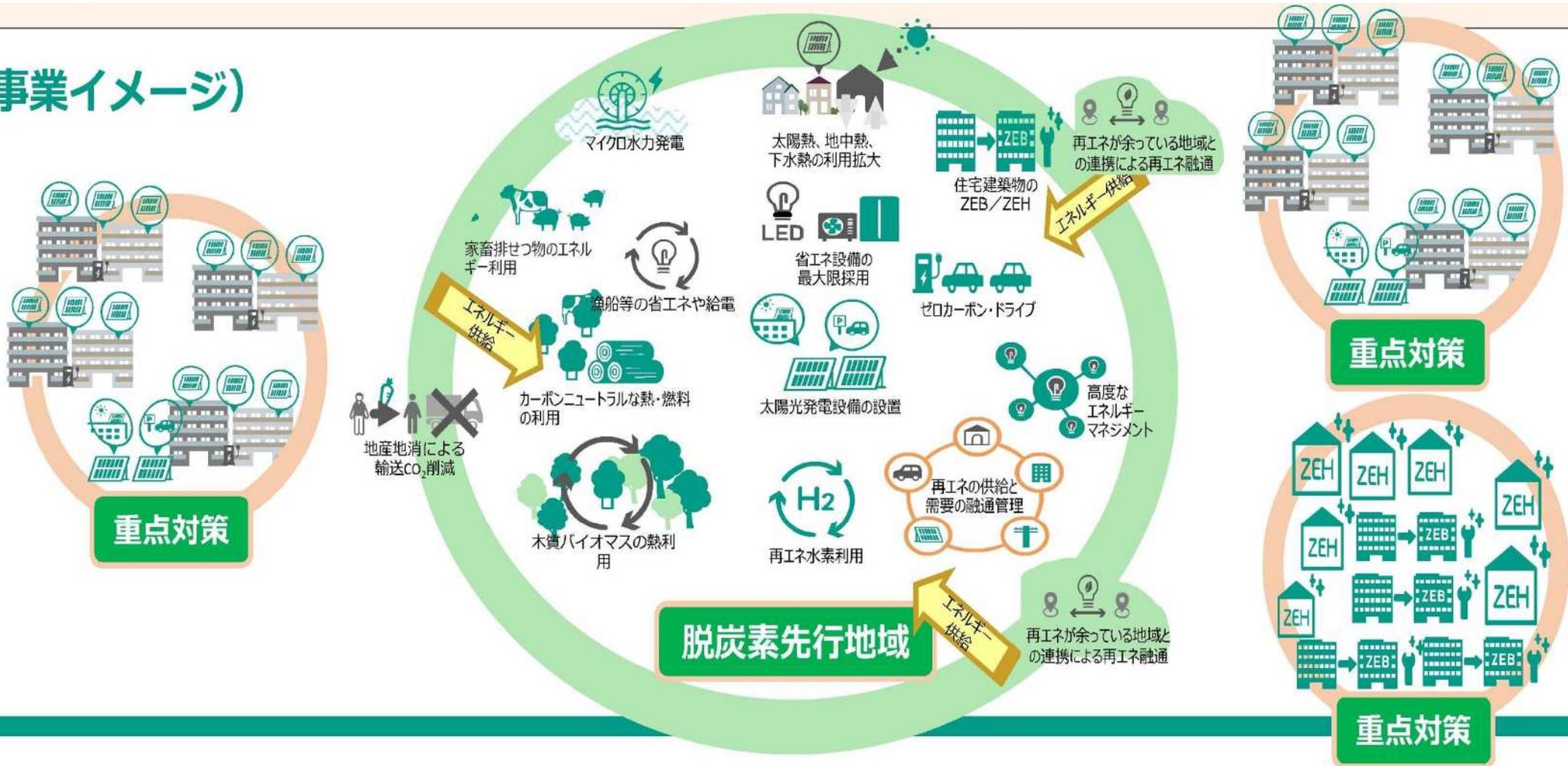
岡山市が「脱炭素社会の実現に向けた指定都市市長会提言」を取りまとめて国に提言（R3.6）

提言内容：自治体や企業、大学等への支援
自治体間連携の促進
炭素税導入と地方財源化の検討 等

脱炭素社会の実現に向けて ～地球温暖化対策②～

参考：地域脱炭素移行・再エネ推進交付金の事業イメージ

(事業イメージ)



※令和4年環境省予算（案）関連資料より抜粋

岡山市におけるデジタル化の推進に向けて①

- デジタル化によって地域経済の発展と市民一人ひとりの幸せを如何に実現するかが課題となっており、制度や政策、組織のあり方等も含めた分野横断的な視点の下、DXによる「住みやすく躍動感のある」まちづくりを推進 → 「**岡山市DX推進計画**」を令和4年3月末までに策定

全体
テーマ

DXによる「住みやすく躍動感のある」まちづくり

推進上
の視点

- ① 利用者目線によるDXの推進 ② 安全で信頼性の高いDXの推進

3つの
施策分野

① 地域社会のDX

デジタル技術を活用することで企業の生産性向上やイノベーションの創出を進め、オープンデータの推進も図りつつ、地域経済の活性化につなげるとともに、子育てや教育、健康福祉、防災といった分野でもデジタル技術を幅広く活用し、市民の安全・安心で快適な生活を実現します。



② 市民サービスの向上

いつでも、どこでも、簡単に完結できるよう行政手続きのオンライン化を推進し、窓口での手続きも「書かない」「待たない」市役所を目指すほか、デジタル技術を積極的に活用することによって職員は企画立案、相談・支援等の業務に重点化し、市民サービスを向上させます。



③ 行政事務の効率化

働き方の多様化や人材の希少化が進む中、全庁的なBPRを実施してAI・RPAの導入やペーパーレスを推進するとともに、必要となるデジタル人材の確保・育成を図ることにより、将来に向かって質の高い行政サービスを提供し続けるための最適な執行体制を構築します。

地域社会のDX

デジタル技術を活用することで企業の生産性向上やイノベーションの創出を進め、オープンデータの推進も図りつつ、地域経済の活性化につなげるとともに、子育てや教育、健康福祉、防災といった分野でもデジタル技術を幅広く活用し、市民の安全・安心で快適な生活を実現します。

DXによる「経済・交流都市」の実現

産業分野	<ul style="list-style-type: none"> イノベーション創出の源泉となるスタートアップの事業成長を促進し、イノベーション創出の加速化を図ります。 デジタルを活用するIoT・AI等の導入等を支援し、企業の労働生産性向上や競争力強化を目指します。
農業分野	<ul style="list-style-type: none"> 機械化、省力化による安定的で高品質な生産体制づくりを進め、担い手不足の解消につなげます。
観光分野	<ul style="list-style-type: none"> デジタル技術を活用し、観光資源の魅力アップや観光客の周遊促進を図るとともに、快適な観光を推進し、観光客の満足度向上につなげていきます。 デジタル技術とマーケティング手法を活用したより効果的な岡山のプロモーションを展開し、岡山の魅力を世界に発信していくようなブランディングを目指します。
オープンデータ	<ul style="list-style-type: none"> 本市保有情報のオープンデータ化を進め、市民や民間事業者等の利活用を促進します。 データの利活用等による行政サービスの改革を目指します。

DXによる「子育て・教育都市」の実現

教育分野	<ul style="list-style-type: none"> GIGAスクール構想の実現により、1人1台端末などのICTを効果的に活用した学びを通して、必要な情報を主体的に収集・判断し、社会課題の解決に役立てることができる人材の育成を目指します。
地域活動	<ul style="list-style-type: none"> デジタルで地域コミュニティの新たなつながりを創出し、地域コミュニティの機能維持を図るとともに、多様な担い手が地域づくりに参画できるまちを目指します。
デジタル デバイス対策	<ul style="list-style-type: none"> 誰もがデジタルによる利便性を享受できるよう、地域と連携しながら市民に対するきめ細やかなデジタル活用支援を進めます。

DXによる「健康福祉・環境都市」の実現

医療福祉 分野	<ul style="list-style-type: none"> 遠隔地などからもリモートでオンライン健康相談を可能にするなど、きめ細やかな福祉サービスの提供を進めます。 AIを活用したビッグデータ分析を行うなど、より効率的、効果的な保健・医療の仕組みの実現を図ります。
防災分野	<ul style="list-style-type: none"> 「逃げ遅れゼロ」を目指し、デジタルを活用した防災力の向上を進めます。

市民サービスの向上

いつでも、どこでも、簡単に完結できるよう**行政手続きのオンライン化**を推進し、窓口での手続きも「**書かない**」「**待たない**」**市役所**を目指すほか、デジタル技術を積極的に活用することによって職員は企画立案、相談・支援等の業務に重点化し、**市民サービスを向上**させます。

パーソナライズされた 情報発信

- ・市のイベント情報や生活に密着した情報など本人の知りたい情報が、**個別に届く**ような情報発信を目指します。

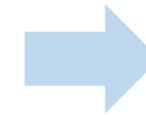
予防接種のお知らせ

地域イベントのお知らせ



行政手続きのオンライン化 マイナンバーカードの普及促進

- ・市民が区役所等の窓口に行かなくても、いつでも、どこでも、**迅速かつ簡単**に行政手続きを完結できることを目指して、**サービスの要となるマイナンバーカードの普及**を促進するとともに、それを活用した行政手続きのオンライン化等を推進します。
- ・窓口の手続きについて、**書かない・待たない窓口**を目指します。
- ・事業者向けの行政手続きについても、オンライン化を進めることで、事務手続きに係る負担の軽減を目指します。



キャッシュレス化の推進

- ・コンビニエンスストアやスマートフォンでの納付を可能にし、税・公金等の納付方法を増やすとともに**キャッシュレス化**を進めます。



情報セキュリティ対策 の徹底

- ・情報システムの安全性と個人情報の適正な取り扱いを確保し、市民サービスにおける新たなデジタル技術の活用を安全かつ適切に行うことができるよう、**情報セキュリティ対策の徹底**に努めます。

行政事務の効率化

働き方の多様化や人材の希少化が進む中、全庁的なBPRを実施してAI・RPAの導入やペーパーレスを推進するとともに、必要となるデジタル人材の確保・育成を図ることにより、将来に向かって質の高い行政サービスを提供し続けるための最適な執行体制を構築します。

システム標準化・共通化の推進 BPRとAI・RPAの活用

- ・国の標準仕様に準拠したクラウドシステムの導入について、原則としてノンカスタマイズで対応することでコスト削減を図ります。
- ・従来の押印・書面・対面主義からの脱却を図るとともに、BPRを徹底することで行政事務の効率化を実現します。

働き方改革の推進

- ・テレワークを含む多様で柔軟な働き方を可能とすることで、ワークライフバランスの実現や組織活力の向上を図ります。

デジタル人材の確保・育成

- ・職員が自らの業務においてデジタル技術を活用した付加価値を創造するとともに、他部局と連携して分野横断的な業務改革を提案できるよう、実践的なスキルアップ研修に取り組みます。
- ・デジタル人材の職員としての採用を行うとともに、外部専門人材の活用や民間企業等との連携・共創にも積極的に取り組みます。



岡山市の全庁的なBPRの推進に向け、コニカミノルタ株式会社と連携協定を締結（R3.12）



多様な大都市制度の実現に向けて① ～現行の大都市制度の状況～

- 今般の新型コロナへの対応においても、指定都市が地域の実情に応じた柔軟かつ機動的な感染症対策や経済対策を講じる上での課題が顕在化
- 指定都市には、住民に最も近いという「現場力」や独自の保健所等の高度な行政能力を有する「総合力」が兼ね備わっており、その能力に見合った権限と税財源を持つことが必要

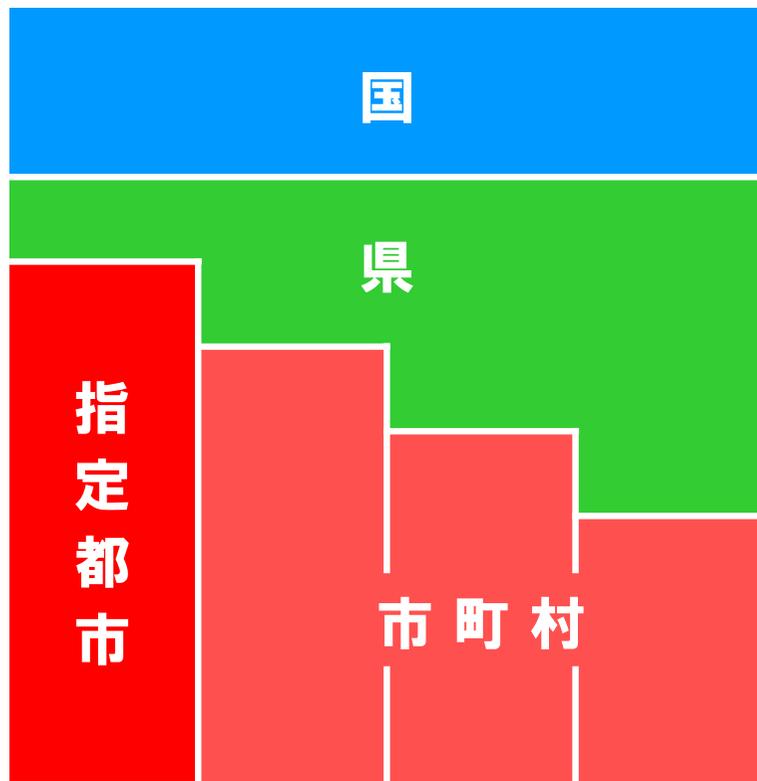
【現行の大都市制度の状況】

制度化済	指定都市制度 通常は道府県に配分される事務の一部（児童相談所など）を指定都市に配分するもの（道府県の権限や税財源が包括的・網羅的に移譲されるわけではない）
制度化済	特別区設置制度（いわゆる都構想） 指定都市を廃止して特別区に再編するとともに、住民に身近な行政は公選区長が置かれる特別区、広域行政は道府県（都）へと事務・財源を再編するもの
未制度化	特別自治市制度 権限と税財源を市に一元化することで、大都市特有の行政課題への柔軟な対応を図るとともに、圏域全体の活性化を目指すもの

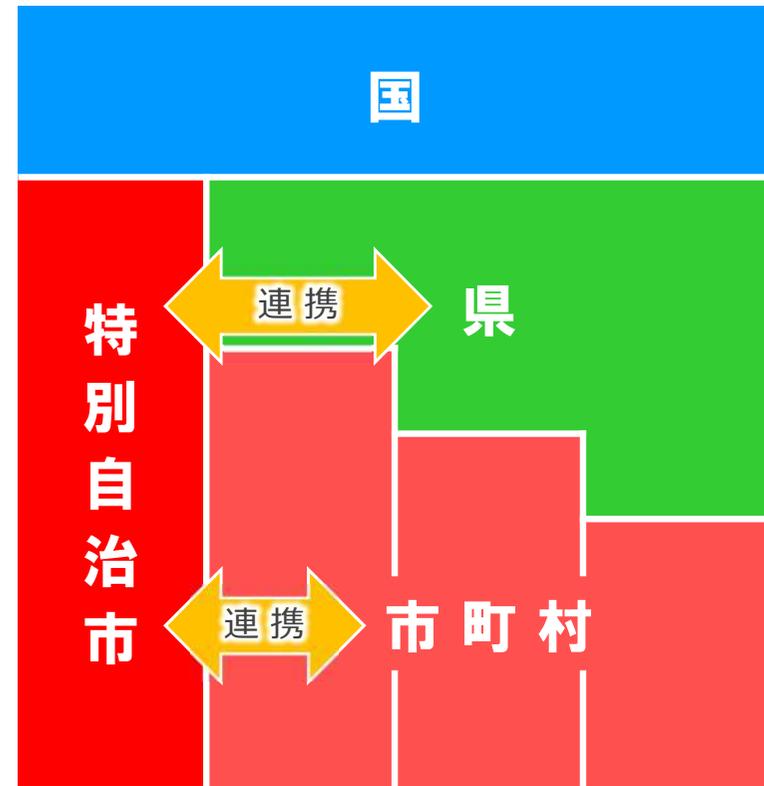
→ 地域の実情に応じてそれぞれに相応しい大都市制度を選択できるようにすべき

多様な大都市制度の実現に向けて② ～特別自治市制度のイメージ～

- 特別自治市制度とは、地方行政の権限と税財源を市に一元化することで、**大都市特有の行政課題への柔軟な対応**を図るとともに、**圏域全体の活性化**を目指すもの



指定都市制度（現行）



特別自治市制度

※ 大都市制度と広域連携の融合

特別自治市制度のメリット

(1) 市民にとってのメリット ➡ 市民サービスの向上

まちづくりや産業等の分野を含む包括的・網羅的な権限と税財源が市に一元化されることから、行政運営の効率化や市民サービスのさらなる向上につながる。

※ これまで、例えば義務教育に関する権限が指定都市に一元化(H29～)されたことで、きめ細かな教育環境の実現につながった。

(2) 県民にとってのメリット ➡ 行政サービスの最適化

大都市が圏域における更なる責務（行政需要）を担うことにつながり、県はその他の地域の補完事務等に重点化することが可能。

※ これまで、連携中枢都市圏で圏域全体の経済成長の牽引や生活機能サービスの充実を図っており、圏域行政の法制化も国に提言中。

※ 災害救助法制の見直し(H31)においても、道府県は救助実施市(一部の指定都市)以外の地域への注力が可能となった。

(3) 国民にとってのメリット ➡ わが国全体の活性化

各地方の拠点となるべき大都市による各種政策の一元的な実施が可能となることで、東京一極集中から多極分散への転換が実現し、地方全体ひいては全国的な活性化につながる。

制度実現に向けた動き

令和3年11月に指定都市市長会「多様な大都市制度実現プロジェクト」最終報告を取りまとめ、特別自治市制度の法制化を提言しており、現在、国や経済界等に対して働き掛けを行っている。

參考資料

将来都市像Ⅰ 「経済・交流都市」

● 拠点性をいかした企業立地の推進

- ・ 本社・中四国支店等誘致をはじめとする各種補助制度の創設によるインセンティブ付与
- ・ 空港南産業団地の整備による企業立地 等

➔ 市内企業立地の件数・新規常用雇用者数・投資額 ※再投資を含む。

22件・485人・217.6億円（平成23年度～平成27年度）→
66件・892人・645億円（平成28年度～令和2年度）

● 創業しやすい環境づくり

- ・ スタートアップ支援施設「ももスタ」の開設

● 魅力と賑わいのある中心市街地の創出（歩いて楽しいまちづくり）

- ・ 路面電車の乗り入れを含めた駅前広場整備事業 ・ 県庁通りの再整備（一車線化）
- ・ 緑のボリュームアップ ・ 岡山芸術交流 ・ 岡山芸術創造劇場整備事業 等

● 持続可能な公共交通ネットワークの再構築に向けた取組

- ・ 法定協議会の開催（バス路線の再編、運賃割引（高齢者・障害者）、都心の運賃適正化に向けた協議・検討）

● 周辺地域における生活交通の確保

- ・ 市内6地区（令和3年1月現在）でデマンド（予約型）乗合タクシーを導入

● 国内外の人を惹きつける観光・交流の推進

- ・ 日本遺産「桃太郎伝説」認定 ・ 造山古墳ビジターセンター設置
- ・ ESDに関するユネスコ世界会議、日中韓3か国地方政府交流会議、G20保健大臣会合開催 等

➔ コンベンション参加者数 152,296人（平成27年度）→ 162,348人（令和元年度） ※14,810人（令和2年度）

➔ 外国人延べ宿泊者数 85,274人（平成27年）→ 206,591人（令和元年） ※26,903人（令和2年度）

将来都市像Ⅱ 「子育て・教育都市」

● 仕事と子育ての両立のための基盤整備

【幼児教育・保育の充実】

保育の受け皿 14,574人（平成28年4月1日）→ 20,871人（令和3年4月1日）

入園申込児童数 16,318人（平成28年4月1日）→ 18,875人（令和3年4月1日）

待機児童数 729人（平成28年4月1日）→ 31人（令和3年4月1日）

➔ 保育の受け皿の整備に加えて、保育士確保に向けて、民間保育士の処遇改善等を実施

【放課後児童クラブの運営見直し】

・保護者が安心して仕事を続けるためには放課後児童クラブの安定的な運営体制が必要

➔ 令和4年度までに放課後児童クラブを市立クラブとし、サービスや利用料金を平準化（令和3年4月までに87クラブのうち、43クラブを市立に移行）

● 女性が活躍できる社会づくり

・「隼より始めよ」の精神で市内の女性が輝く環境づくりを推進

➔ 岡山市役所（教職員を除く）の管理職（課長級以上）に占める女性の割合 8.4%（平成27年4月1日）→ 15.0%（令和3年4月1日）

● 主体的な学びの推進による学力の育成

・思考力・判断力・表現力等を問う「活用」に関する問題の無回答率が全国平均を上回る

➔ 岡山市独自の学力調査（学力アセス）を実施し、その結果を活用した授業改善を実施

➔ 全国学力・学習状況調査の偏差値

小6 国語50 算数50（平成27年度）→ 国語51 算数50（令和元年度）

中3 国語48 数学48（平成27年度）→ 国語50 数学50（令和元年度）

● 問題行動等の防止及び解決

暴力行為（中学校1,000人当たり） 18.0件（平成27年度）→ 12.7件（令和2年度）

不登校（小学校） 0.57%（平成27年度）→ 1.14%（令和2年度）

➔ 小・中学校の連携強化、不登校児童への早期対応を実施

● ESD活動の拡大とSDGsの推進

・「SDGs未来都市」に選定（誰もが健康で学び合い、生涯活躍するまち岡山）

将来都市像Ⅲ 「健康福祉・環境都市」

● 健康寿命の延伸に向けた健康づくりの推進

- ・ 健幸ポイントプロジェクトにより運動等の取組促進が健康づくりに寄与（BMI値、メタボリックシンドロームの減少及び医療費抑制効果）
 - ・ 健康ポイント事業（おかやまケンコー大作戦）にSIBを活用（令和元年度～）
※SIB（ソーシャルインパクトボンド）：民間事業者が、出資・融資等の資金調達により事業実施し、事前に定めた成果指標の達成状況に応じて市が事業費を支出するもの
 - ・ 生涯現役応援センターを設置し、高齢者の就労やボランティア活動等の生きがいづくりに寄与
 - ・ 2030年の岡山の保健医療のあるべき姿を宣言としてまとめた「PHO（ポジティブ・ヘルス・オカヤマ）」を策定 等
- ➡ 健康寿命 男性71.6歳 女性73.4歳（平成25年）→ 男性72.2歳 女性74.9歳（令和元年）

● 平成30年7月豪雨等を踏まえた防災・減災対策

【地域防災力の強化】

- ・ 身近な組織である町内会単位で地域における「共助」の要となる自主防災組織の結成促進
 - ・ 自主防災組織結成促進のための各種助成制度を創設及び拡充
- ➡ 自主防災組織活動カバー率 64.5%（平成30年4月）→ 94.1%（令和3年4月）

【災害に強いまちづくり】

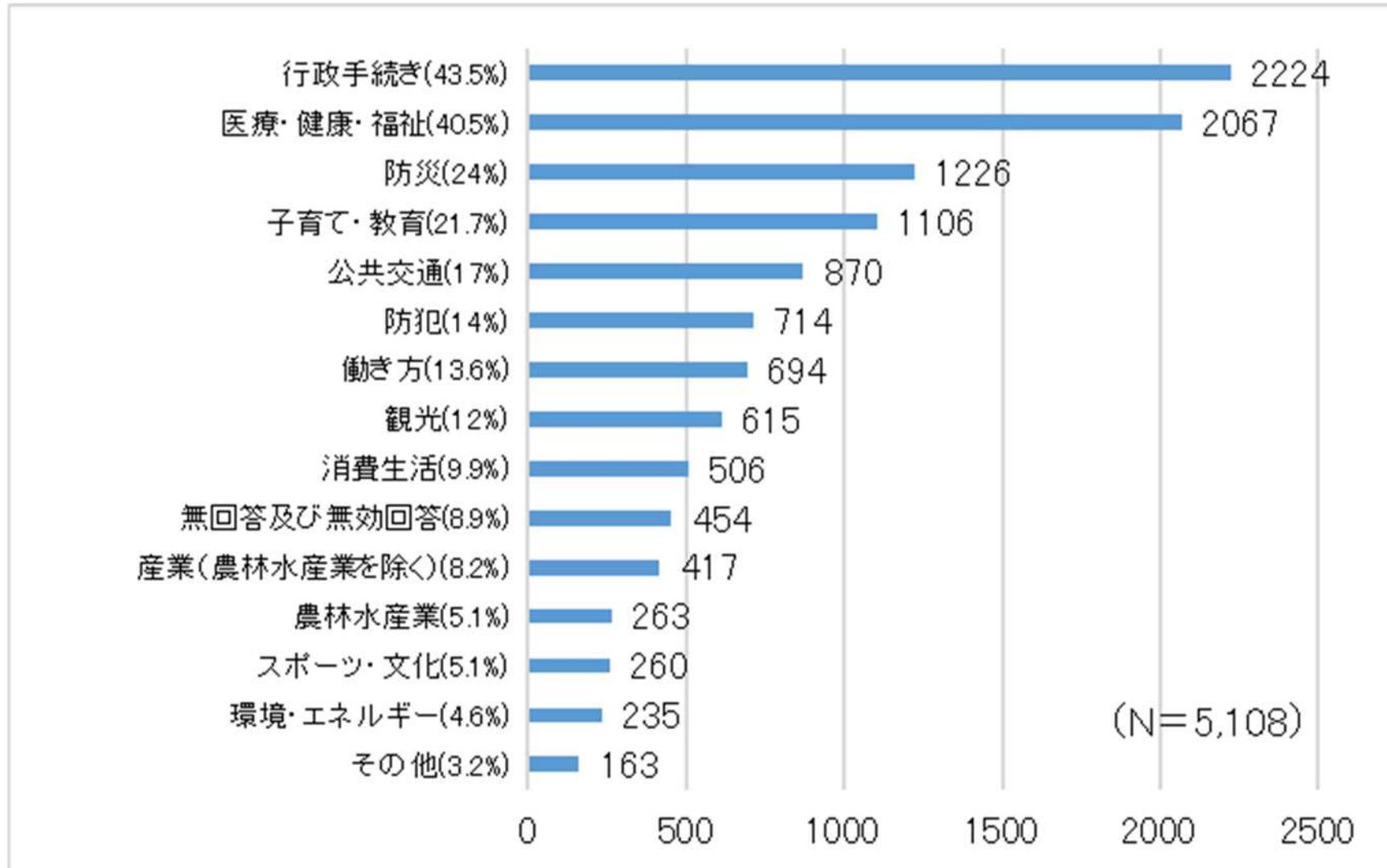
- ・ 浸水被害の著しかった3排水区（今保、津島、横井）を下水道整備の重点地区に追加
- ・ 事前に豪雨が予測される場合の事前水位調整を行う区域拡大などの見直しを実施

● 低炭素型の環境にやさしいまちづくり

- ・ 温室効果ガス排出削減に向けた「世界首長誓約／日本」への署名
- ・ 2050年二酸化炭素排出実質ゼロ宣言
- ・ ごみ処理施設の再生可能エネルギーの活用に向けた検討（新庁舎等の公共施設）

【参考】 デジタル化に関するアンケート結果

【13】 あなたは、岡山市がどの分野でデジタル化の取組を特に進めるべきだと思いますか。（〇は3つまで）



※令和3年度岡山市市民意識調査（速報値）より